

平成28年度 市立病院 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(市立病院関係分)

政策 03 福祉 ・ 保健 ・ 医療	政策展開の方向性						
	<p>全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるよう健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。</p> <p>また、だれもが安心して生活できるよう保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。</p> <p>さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活が送られるようサービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を確保することで、地域全体で支え合う体制づくりを推進します。</p>						
	平成28年度 of 取組状況報告						
	03-02 健康づくりの推進と地域医療の安定						
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療体制の確保について、市立病院では、総合内科医研修センターを活用した医師の育成・受入態勢の充実により、総合内科の医師が増員となったほか、看護師の定員充足に努めるとともに、作業療法士などのリハビリスタッフを拡充し、病院運営に不可欠な医療職の確保を図ることができました。 ・市立病院の経営健全化については、良質な医療を効率的に提供するとともに、円滑な在宅復帰への支援を行うために導入したDPC（包括医療費支払い制度）と地域包括ケア病棟を効果的に運用することで、診療単価が前年度を上回り、診療収益が58億1百万円と前年比3千5百万円の増益となりました。 ・費用については、薬剤の後発医薬品への切り替えや診療材料の価格交渉などによる縮減を進めたことで、病院事業費用全体では、前年比で3千2百万円の減額となりました。しかしながら、診療収益は計画の61億9千9百万円には届かず、一方、費用についても人事院勧告の影響から人件費が見込みより増額となったことなどにより、目標である病院事業会計全体の収支を均衡させるには至らず、不良債務として2億6千3百万円が発生する結果となりました。 ・これまで進めてきた医師確保や経営改善等の取組をさらに推進するため、国が示す新公立病院改革ガイドラインに沿って、北海道が策定した地域医療構想と整合性を図り、江別市立病院新公立病院改革プランを策定しました。 ・高齢化社会に対応した医療の提供を図るため、地域包括ケアシステムの構築を見据え在宅診療の提供を継続するとともに、その充実に努めました。 ・市民の健康意識向上のため、市立病院職員を講師として派遣するなど、健康づくりセミナーの開催に努めました。 						
		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合	%	42.1	32.6	37.3	40.0	↗
	健康だと思う市民割合	%	82.0	80.6	79.6	78.0	→
	自宅で生活している障がいがある方の人数	人	7,600	7,869	7,798	7,637	↗
	生きがいを感じている高齢者の割合	%	78.9	76.1	74.3	75.9	↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	92.1	88.2	91.2	89.8	→	
市立病院が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「江別市立病院経営健全化計画」不良債務残高	千円	463,947	390,550	0	263,368	↘	

2. えべつ未来戦略(市立病院関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 市立病院の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
病院事業会計 (千円)	収益的支出	7,392,585	7,420,485	7,387,961		
	資本的支出	1,274,319	1,193,613	997,065		
	合計 (A+B)	8,666,904	8,614,098	8,385,026		
総 額		8,666,904	8,614,098	8,385,026		